

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る特別休暇（特例措置）の取り扱いについて

令和 2(2020)年 4 月 11 日決定 5 月 30 日改定

NPO 法人風の音 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策本部

1. 制度の目的

法人内（利用者・職員及び家族）での新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する対策として、少しでも感染拡大の恐れがある場合に、決して無理をして出勤しないようにするために、特別有給休暇の取得を特例措置として認めることとします。（根拠は各就業規則の委任事項による）

2. 実施期間

令和 2 年 4 月 11 日から対策が必要ないと認められるまでの間 (6 月 12 日まで延長)

3. 実施内容

(1) 適用対象 非常勤職員を含む全職員で、下記の条件に該当する場合

- ①発熱（平熱より 1℃以上高い）や風邪の症状がみられるとき。（発熱が見られたら毎日、必ず体温を測定し記録しておく）
- ②高齢者（65 歳以上）で、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD 等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、並びに妊婦
- ③定年（70 歳）を超えて嘱託又は特任非常勤職員として雇用されている方
- ④公共交通機関を利用して遠地(50km 以上)から通勤している方（車で代替通勤可能な方は除く）
- ⑤その他特別の事情があり、理事長が特に認めた場合（未就学を含む低学年児童の見守り等）(人員配置の都合により、管理者から自宅待機の指示を受けた方を含む)

(2) 労働条件

- ①年次有給休暇と同様に、本来の勤務日に取得できるものとします。
- ②年次有給休暇と同様の賃金を支払い、年次有給休暇にはカウントされません。
- ③自宅待機の休業手当は平均賃金の 60%ですが、100%支給のため特別休暇期間中（非勤務日、休日を含む）の行動制限（自宅外での副業禁止、不要不急の外出自粛）を伴います。（メール、FAX 等での定時連絡、行動記録の提出が必要）

(3) 申請方法

取得を希望する場合は、所定の申請用紙に取得理由、取得日、取得期間等を記入して所属長及び管理者経由で理事長に提出します。

※注意事項

1. 制度の目的から、この特別休暇取得期間中は自宅外での副業を禁止し、不要不急の外出（生活に不可欠なものを除く）は自粛することを誓約して頂きます。（違反した場合は、年次有給休暇扱いとなり、懲戒及び損害賠償の対象となります）
2. 職員等は同居人が指定感染症に感染又はその恐れがあるときは直ちにその旨届け出なければなりません。（各就業規則）
3. 職員等は指定感染症に感染した判断されたときは、就業できません。（各就業規則）国費による入院勧告（状況によりホテル又は自宅療養）となり、雇用保険からの休業補償に切り替わります。

以上

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る特別休暇（特例措置）申請書

NPO 法人風の音
理事長 根本雅子 様

管理者	所属長	本人・代理人

申請日 2020年 月 日

申請者 所属
氏名

私は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る特別休暇（特例措置）制度の目的を理解し、労働条件及び注意事項を遵守することを誓約し、特別休暇の取得を申請します。

記

1. 取得理由	①発熱（平熱より 1℃以上高い）や風邪の症状がみられるとき。（発熱が見られたら毎日、必ず体温を測定し記録しておく） ②高齢者（65歳以上）で、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD 等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、並びに妊婦 ③定年（70歳）を超えて嘱託又は特任非常勤職員として雇用されている方 ④公共交通機関を利用して遠地(50km 以上)から通勤している方（車で代替通勤可能な方は除く） ⑤ その他特別の事情があり、理事長が特に認めた場合（未就学を含む低学年児童の見守り等）	
2. 取得日	毎週 曜日	
3. 取得期間	月 日 ~ 月 日	
4. 申請に係る状況説明		
5. 特記事項	居所： 連絡先：	

別紙 1. 体調経過及び行動記録表

所属
氏名

(※発熱の2週間前から記載)

月日(曜日) 時刻 体温・症状・経過・行動歴・濃厚接触者等(マスク着用の有無)

<相談・受診の前に>

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。
- <以下のいずれかに該当する方は、帰国者・接触者相談センターに相談>
 - ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
 - ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方
- <以下のような方は重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合に相談>
 - ・ 高齢者 ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方
 - ・ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方 ・ 妊婦の方